

12月の安全運転のポイント

2025年12月号

安全な運転を継続していくためには、自分の運転を振り返り、交通ルールを守っているか、安全運転の基本を実践しているかなどをチェックすることが大切です。そこで今回は自分の運転を振り返り、今後の安全運転をより一層推進するためのステップとなるチェックポイントを挙げました。

Check 1 こまめにスピードメーターを見て、速度をチェックしていますか？

規制速度を守り、天候や道路状況に応じた速度で走行することは、安全運転の基本中の基本です。速度の判断を感覚に頼らず、きちんとスピードメーターを見てチェックしましょう。特に夜間や高速道路の走行時は速度感覚が鈍り、速度超過になりやすいため、より一層こまめにスピードメーターで速度のチェックを行いましょう。



Check 2 自分だけでなく同乗者にも必ずシートベルトを着用させていますか？

シートベルトは、交通事故が発生した場合の乗員の被害を大幅に軽減するとともに、正しい運転姿勢を保つことで疲労を軽減するなど、さまざまな効果があります。シートベルトを備えている自動車を運転するときは、運転者自身がシートベルトを着用するだけでなく、助手席や後部座席の同乗者にも着用させなければなりません（エアバッグが搭載されている自動車の場合も同様です）。

また、シートベルトは正しく着用しないと十分な効果が得られないため、乗員全員が正しく着用しているか確認することが大切です。



Check 3 少しでも酒気を帯びていたら運転しないことを徹底していますか？

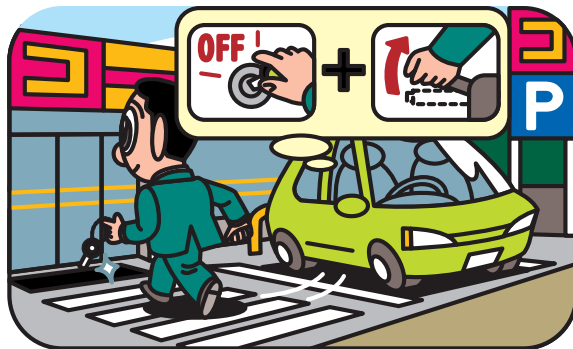
飲酒運転は危険で悪質な犯罪行為であり、いかなる理由があろうと許されるものではありません。一滴でもお酒を飲んだときは車を運転してはなりません。特に年末年始は普段に比べてお酒を飲む機会が増えるため、自分が飲酒運転をしないというだけでなく、周囲に飲酒運転をするおそれのある人がいるときは必ず制止する、車で訪問してきた人には酒類を提供しないことも徹底する必要があります。



Check 4 短時間の駐車時でも、エンジンを切り駐車ブレーキをかけていますか？

環境省の「エコドライブ10のすすめ」によれば、10分間のアイドリング（エアコンOFFの場合）で、130cc程度の燃料を消費するため、短時間の駐車の場合でも、エンジンを切りましょう。

また、自然発火による事故（運転者の運転行為以外の原因で車両が動き出すことによって発生した交通事故）を防止するために、車から離れるときは必ず駐車ブレーキをかけましょう。



Check 5 薄暮時には、早めにヘッドライトを点灯していますか？

薄暮時とは、日没時刻の前後1時間を指します。薄暮時は、暗くなっていく速度に目の順応が追いつかず、視力がかなり低下した状態になるといわれています。そのため、ヘッドライトを点灯していない車は、自車の視界が十分に確保できないだけでなく、周囲の車や歩行者、自転車からも見落とされやすくなります。早めにヘッドライトを点灯して周囲から見落とされないようにしましょう。



Check 6 一時停止の義務がある場所では、確実に停止していますか？

毎年、車両相互の死亡事故で最も多いのは「出会い頭衝突」です。そのなかには見通しの悪い場所での一時停止不履行による事故がかなり含まれていると考えられるため、一時停止が義務づけられている場所では、確実に停止して左右の安全確認をしましょう。

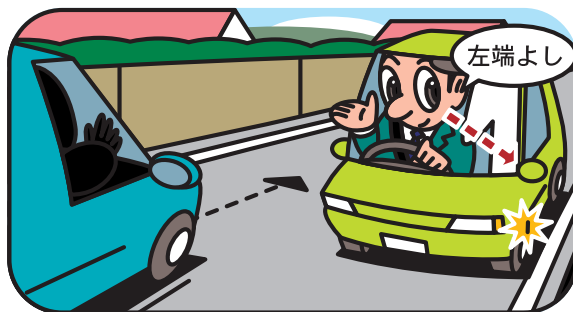
また、一時停止が義務づけられていない場所でも、信号機のない左右の見通しの悪い交差点では、徐行が義務づけられているため、その点も忘れないようにしましょう。



Check 7 狭い道路で対向車とすれ違うときは、相手に道を譲っていますか？

狭い道路で対向車と接近し、そのまま進行すると接触するおそれがあるときは、相手のほうが止まるだろうとは考えず、自分のほうから左に寄って停止し相手を先に行かせるようにしましょう。

ただし、左に寄るときには道路端に置かれた看板や工作物などに接触しないか、後方から自転車や歩行者が接近していないかなどをよく確認しましょう。



「お問い合わせ先」

日軽パートナーズ株式会社 保険部

フリーダイヤル：0120-202-565

メール：nsk-hoken@nsk.nikkeikin.co.jp



令和6年中における救急出動件数のうち、正しいものを次の中から選んでください。

- ①約770万件 ②約640万件
③約520万件



TOKIO MARINE
NICHIDO

緊急自動車への対応

緊急自動車がより早く、より安全に現場に到着するためには、一般車両の協力が不可欠です。運転者一人ひとりの適切な判断と落ち着いた行動が、人命を救うことにつながっています。しかし、対応を誤ると救命活動に遅れが生じるだけでなく、新たな事故を生む可能性もあります。今月は緊急自動車が接近してきた際の正しい対応について、改めて確認してみましょう。

緊急自動車とは

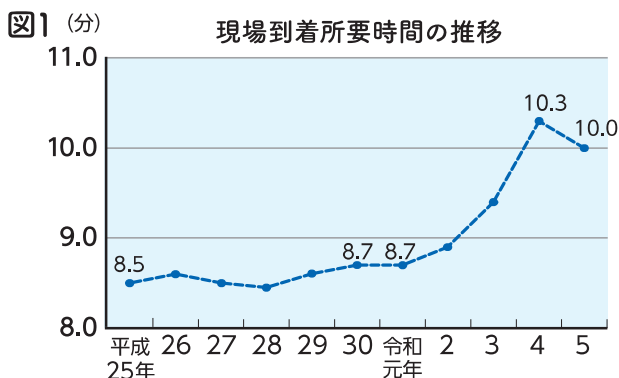
サイレンを鳴らし、赤色の警光灯をつけ、緊急用務のために走行しているものをいいます。サイレンを鳴らしていないときや、警光灯が青色の車両は緊急自動車に該当しません。多くの場合、急病・事故・火災等、人命にかかわるため、どれだけ早く現場に到着できるかが重要です。道路交通法では緊急自動車の優先通行権が認められており、一般車両はその進路を妨げてはならないと定められています。緊急自動車へ進路をゆずることはマナーではなく義務であり、違反をすると反則金や減点等の罰則の対象にもなります。

※道路交通法 第39条、第40条

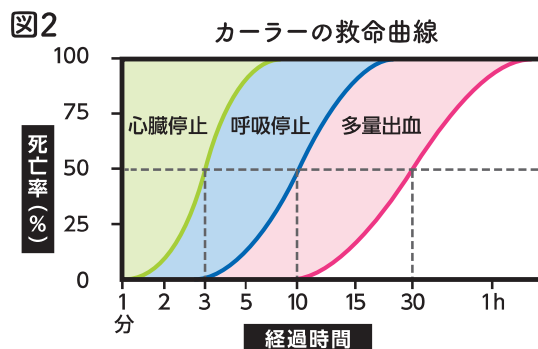


一刻を争う救命の場

現場到着所要時間(119番通報を受けてから現場に到着するまでに要した時間)の平均は年々延伸傾向にあり、令和4年では約10.3分、令和5年では約10.0分と、2年連続で10分台を記録しています(図1)。これには様々な要因が影響していますが、その一因に交通渋滞や緊急自動車の走行への妨害があると考えられます。死亡率は心臓停止後約3分で50%、呼吸停止後約10分で50%、多量出血後約30分で50%に達するといわれており、時間の経過とともに死亡率が高まるため、1分、1秒でも早く救命処置を行うことが重要です(図2)。交通参加者が適切に行動することで、現場到着に要する時間を短縮し、多くの命を救うことができます。



出典:消防庁 報道資料「令和6年版 救急・救助の現況」より弊社作成



出典:M.Cara: 1981.「カーラーの曲線」より弊社作成

緊急自動車が接近してきたときの対応



誤った対応

緊急自動車が接近してきたときに誤った対応をすると、緊急自動車のみならず、他の交通参加者に迷惑をかけたり、新たな事故を引き起こしたりするおそれがあります。

サイレンを無視して進路をゆずらない

⇒ 対応が遅れ、緊急自動車への通行妨害や他の車が避けるためのスペースをなくす可能性があります。

急ブレーキや急ハンドルで対応する

⇒ サイレンが聞こえたからといって急ブレーキで停止すると、追突される可能性があります。また、急ハンドルでの進路変更や周囲の状況を確認しないまま片側に寄ると、接触事故を起こしたり、かえって邪魔になったりすることもあります。

道路の中央や追い越し車線で停止する

⇒ 不適切な場所で停止すると、緊急自動車が通過できなくなったり、他の車が寄せられなくなったりする可能性があります。

緊急自動車通過後、すぐに発進する

⇒ 本来の走行位置とは異なる場所に停止しているため、安全確認しないまま発進すると他の交通参加者と接触する可能性があります。また、緊急自動車は1台だけでなく、複数台が連続して走行している場合もあります。



正しい対応

近年の車は防音性能が高いことに加え、大きな音で音楽を流していたりエアコンを使用していたりすると、サイレンが聞こえにくいことがあります。なるべく音量は抑えるようにし、少しでもサイレンの音が聞こえたり赤色灯が見えたりしたときは、窓を開ける、音量を下げるなどして、周囲の状況に注意を向けましょう。緊急自動車のサイレンが聞こえたら、まずはどの方向から来ているのか、目視やミラーを活用して確認します。進路をゆずる場合は、無理な動きをして事故を起こすことのないように、落ち着いて行動することが大切です。周囲の状況を確認してから合図を出し、再度確認をした上で減速や停止、進路変更を行います。一時停止中は周囲の車や緊急自動車に伝わるよう、ハザードを付けておくとも良いでしょう。

確認



合図



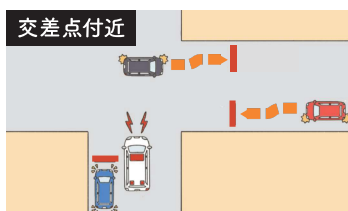
再確認



行動

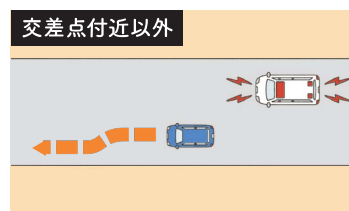
交差点付近を走行中に緊急自動車が近づいてきたとき

交差点を避け、道路の左側に寄って一時停止し、進路をゆずります。既に交差点内に入っていた場合は、できる限り交差点から出て左側に寄ります。



交差点付近以外を走行中に緊急自動車が近づいてきたとき

基本は道路の左側に寄って、緊急自動車の進路を確保します。一方通行の道路等、左側に寄ることで緊急自動車の走行の邪魔になる場合には右側に寄ります。この時に一時停止の義務はありませんが、緊急自動車を先行させるため、状況に合わせた対応をとしましょう。



高速道路では…

緊急自動車は追越車線を通行することもあれば、路肩を通行することもあります。また、渋滞中には車線と車線の間を通行することもあります。一般道路とは異なり、後方からのみ接近してくるので、ミラーで緊急自動車の動きや距離を把握し、周囲の車の動きを見ながら適切な位置に移動しましょう。救急隊員の誘導・指示がある際は、必ず従いましょう。

緊急自動車を迅速・安全に現場到着させるために

消防庁の統計によると、令和6年の全国の救急出動件数は過去最多を更新しました^{※1}。救命の現場では1分、1秒の遅れが生死を左右します。緊急自動車を迅速かつ安全に到着させるために、道路を共用する運転者一人ひとりが担う責任を自覚し、日頃から正しい対応の仕方をイメージするなど、いざというときのために備えておきましょう。

※1 消防庁 報道資料「令和6年中の救急出動件数等(速報値)」より

★サイレンが聞こえたら、緊急自動車の方向と周囲の状況を確認しましょう

★緊急自動車が近づいてきたら、落ち着いて進路をゆずりましょう

★日頃から正しい対応の仕方をイメージしておきましょう

今月のクイズの答え

①約770万件

771万7,123件と報告されています。 出典:消防庁 報道資料「令和6年中の救急出動件数等(速報値)」より

で用命・ご相談は…

日軽パートナーズ株式会社 保険部
フリーダイヤル: 0120-202-565
メール: nsk-hoken@nsk.nikkeikin.co.jp



東京海上日動

URL www.tokiomarine-nichido.co.jp
担当営業課